

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）安全・安心部会（R4.1.13）での意見と対応一覧

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
1	経営課題1（めざす状態） 「新しい生活様式を取り入れながら、幅広い世代が…」とあるが、幅広い世代をもう少し具体的にわかりやすい表現にしてはどうか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	特定の年齢層に限らず、子どもから高齢者の方々まで、すべての世代として表現させていただいております。	地域課（地域）
2	経営課題1（今後5年間の施策の方向性） 「ICTを積極的に活用」とあるが、各地域のICT活用の進め方がバラバラである現状、地域の実態を区役所として把握、認識しているか。そのうえで、活用をどうしていくつもりなのか。パソコンを使ってもレベルはいろいろである。どのようなアプローチができるか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	ICT活用には、様々な利用方法があり、用途や主な対象者によって、使い分ける必要も出てまいります。コロナ禍に関わらず、より多くの方々に必要な情報をお届けし、多様な主体が連携できる場を効果的に設定したいと考えております。 当区では、地域のみならず、ICTを積極的に活用できるきっかけとさせていただけるよう、大阪経済大学と連携した「スマホ講座」開催のほか、Web会議の実践など、各地域の実情に応じた支援をさせていただきますので、ぜひ、ご相談ください。	地域課（地域）
3	経営課題1 「新たな担い手」とあるが、地域でどういうことに手を貸してほしいか、どんなことで困っているか、どういうことなら協力できるかのマッチングができればおもしろいのではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	マッチングの方法として、(大阪市市民共済活動総合ポータルサイトにあるボランティア募集ページなど)がご利用いただけます。また、現在[1月31日時点]、中学生以上の住民の方を対象として、地域活動に関するオンラインアンケートを実施しており、アンケート項目には活動したい分野についての設問も含めており、今後、集計結果については、公表を予定しています。なお、各地域団体におかれましても、集計結果を地域活動にご活用いただけると幸いです。	地域課（地域）
4	経営課題1 5年後、10年後より大事な今は今であり、活動できている今のうちに取り組んでいくことが大事ではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	将来ビジョンは区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していくうえで、地域としての区のみならず、将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性等をとりまとめ、区民の方々に明らかにするものであり、中期的な視点（5年）をもって、目標を設定しており、その目標を達成するための年度ごとの取組は運営方針に掲げています。 年度ごとの具体的な取組事例は、参考資料として学習会の際にお示ししておりますので、ご参照ください。	総務課（総合企画） ・ 地域課（地域）
5	経営課題1 コロナ禍を経験して、やらなくてもいいことも見えてきたと思うので、活動を整理（取捨選択）して、実情に合わせて、地域の担い手の負担軽減を考えていくべきではないかと。 そうすることで、協力してくれる人が増える（一人一人の負担が減る）のではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	コロナ禍のポジティブな一面として、これまでの活動の在り方を再検討していただき、各活動を整理していただく機会となった点があると思われれます。 各地域において、自律的な活動を行うために、それぞれの実情に応じた検討をいただきたいと考えており、必要に応じて行政として支援させていただきます。	地域課（地域）
6	経営課題1 地域で活動している人がどう困っているのか、逆に地域のことを手伝いたいが、一歩踏み出さない理由は何なのかというニーズ探りがある程度活動できている今のうちにやっておくべきではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	コロナ禍における地域活動状況アンケートを毎月実施しているほか、地活協会長向けアンケートや地活協構成団体向けアンケートを年1回実施し、状況の把握に努めるとともに、新たに、中学生以上の住民の方を対象として、地域活動に関するオンラインアンケートを実施しており、アンケート項目には活動したい分野についての設問も含めており、今後、集計結果については、公表を予定しています。	地域課（地域）
7	経営課題1 集まれてわかる楽しさもある中で、コロナ禍で集まれない状況がある一方、外出しなくても何でもできる。それぞれ良い面、悪い面の両方があるが、このような状況の中で新しい活動の分野ができてくるのではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	コロナ禍による影響もあり、ICTの活用が促進されたことで、地域活動の形も多様化してまいりました。 行政といたしましても、コロナ禍に関わらず、より多くの方々に必要な情報をお届けし、多様な主体が自律して連携ができるよう支援してまいります。	地域課（地域）

令和3年度東淀川区区政会議第2回(仮)安全・安心部会(R4.1.13)での意見と対応一覧

議題1:東淀川区将来ビジョン(素案)について

議題2:令和4年度東淀川区運営方針(素案)について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
8	経営課題1 地域の役員の高齢化に伴い、引き継ぐにも世代間でうまく引き継いでいけるのか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	各地域それぞれの事情があり、まずは、自律的な地域内の合意形成が必要です。 その際に必要であれば、行政としてアドバイス等の支援をいたしますので、ご相談ください。	地域課(地域)
9	経営課題4 9項目のめざす状態を達成するために地域間の温度差をどう解消していくか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	地域連絡会議や防災リーダー隊長連絡会、区ホームページなどを活用して、他地域の防災・防犯・交通安全の取組事例を共有しながら支援していきます。	地域課(安全安心)
10	経営課題4 交通安全、避難、防災等の区切りごとにセミプロになれるような取組が必要ではないか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	出前講座や広報紙、区ホームページなどを活用して引き続き啓発していきます。	地域課(安全安心)
11	経営課題4(防災) 地域ではどうということから始めていけばいいかを具体的に示してもらえれば取り組みやすい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	防災リーダー隊長連絡会の場や区ホームページなどを活用して具体的に示していきます。	地域課(安全安心)
12	経営課題4(防災) 災害時の帰宅困難者等への取組があがっているが、現状で企業として包括協定(協力)してもらえるところはどのぐらいあるか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	東淀川区・淀川区と合同で支援している新大阪駅周辺地区帰宅困難者対策協議会会員は令和2年度末時点で33事業所・団体です。	地域課(安全安心)
13	経営課題4(防災) 西淡路地域に現在は閉鎖されている人権関係の建物が3棟あるが、そこに備蓄センターをつくる等の考えはあるか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	大阪市内の備蓄に関しては大阪市危機管理室が包括的に管理していますので、区として備蓄センターをつくる考えはありません。	地域課(安全安心)
14	経営課題4(防災) 個別避難計画の策定状況はどうなっているのか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	「災害対策基本法等の一部を改正する法律案」について閣議決定(令和3年3月5日)され個別避難計画の作成について、市町村の努力義務とされました。 当区としても、地域の皆様とも連携し、福祉施設や住民の方々の理解と協力を得ながら、個別支援計画の作成を支援していきます。	地域課(安全安心) ・ 保健福祉課(保健福祉)
15	経営課題4(防災) 各地域の備蓄物資等の状況を町会の方が把握し、実際に運用する際の役割分担はできているのか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	地域防災訓練の内容にも盛り込んできた経過がありますが、最近はコロナ禍の対応を重点的に取り組んでいること、また、訓練や学習会が実施できない状況が続いておりますので、防災リーダー隊長や連合振興町会長をはじめとした自主防災組織の役員の方と情報を共有しています。	地域課(安全安心)
16	経営課題4(防犯) 淀川3区で設置していた防犯カメラが維持費の関係で減っているが、区役所としてはどう考えているか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	淀川3区防犯プロジェクト事業(防犯カメラのリース設置)は平成30年度末で終了したところですが、その後は、限られた予算の中で、警察と設置場所を協議し、順次増やしています。	地域課(安全安心)
17	経営課題4(防災) 医誠会病院が移転した場合、災害時どこの医療機関と連携するのか。区として医療機関の誘致等は考えているのか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	大阪市として市内の広域医療救護に関する調整・活動を行うことになっていますが、区としても区医師会、区薬剤師会、区歯科医師会をはじめとした区内の医療機関との訓練を行うなど取組を進めています。	地域課(安全安心)
18	経営課題4(防災) 地活協を中心に備蓄物資を管理しているが、管理や保管場所を民間委託する等、効率的な管理ができないか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	災害時避難所に備蓄している物資は大阪市が管理しています。 地域でも備蓄されている物資もあると思われませんが、費用面や緊急時対応を考慮しますと主体的に管理される方が良いと考えます。	地域課(安全安心)

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）安全・安心部会（R4.1.13）での意見と対応一覧

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
19	経営課題4（防災） 水害と地震では逃げる場所が違うと思うが、避難所は常に小学校等だが、（高いところに避難が必要な）水害時に小学校への避難ができるのか。 小学校だと普段鍵が閉まっていて、鍵の管理を誰がしているか等を把握しておく必要がある。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	ご意見のとおり、災害種別により避難場所は異なります。 水害によって避難が必要な場合は、最寄りの水害時避難ビルや丈夫な建物の浸水しない上階に避難していただきます。また、小中学校にも避難していただけるように、避難情報を発令する前に浸水しない高さの校舎等の上階を避難場所として開設します。今後、これまで以上に災害種別ごとの避難行動の周知を進めていきます。	地域課（安全安心）
20	経営課題4（防災） 地域にある防災倉庫を実際の災害時に使用するか疑問。地域によっては堤防横に防災倉庫があり、水害時には誰も行かないと思う。 設置場所は正しいのか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	防災倉庫には災害種別ごとに必要なものや管理されている方も様々あるかと思えます。適正な設置場所であるかについては、一概に回答が困難なことから、疑問に思われる倉庫について、個別にご相談いただければと思います。	地域課（安全安心）
21	経営課題4（防災） 水害時にメートル単位で浸水することのイメージができていない人が多い。 自地域がどのくらいまで浸水するのかを知っておいたほうが良い。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	ハザードマップを全戸配布するなど啓発に努めていますが、街なかでも浸水の危険性をイメージできるような取組を検討します。	地域課（安全安心）
22	経営課題4（防災） 建物（電柱）等に浸水する高さの目印があれば意識づけになるのではないかと。 HPでの周知やハザードマップではイメージしにくい。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—		
23	経営課題4（防災） 避難場所については、企業や地域との協力が必要ではないか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	避難所の開設・運営には、地域住民や企業等との協力が必要不可欠であると考えておりますので、今後とも、地域等と連携してまいります。	地域課（安全安心）
24	経営課題4（防災・防犯） 青パトを利用して防災の広報をしてはどうか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	青色防犯パトロールについては、防犯活動という制約のもと道路使用許可をとっており難しい面がありますが、避難の呼びかけ等の緊急時には活用することとしています。	地域課（安全安心）
25	経営課題4（防犯） 青パトの乗務員の高齢化が懸念される。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	地域の担い手の高齢化は大きな課題であり、新しい担い手の発掘・育成について、地域課として、地域と連携して取り組んでいるところです。	地域課（安全安心） ・ 地域課（地域）
26	経営課題4（防犯） 広報板に照明があれば防犯につながるのではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	区役所が設置している広報板への照明の設置については、電源の確保や維持管理などの関係があり困難です。	総務課（総合企画）
27	経営課題4（交通安全） 無灯火の自転車が多い。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	無灯火の自転車の取締りは警察の所管ですが、自転車マナーの啓発については、警察、地域等と連携して、区広報紙、ホームページ、SNS、啓発ちらし、各種キャンペーンにより引き続き実施してまいります。	地域課（安全安心）
28	経営課題5（広報） 問合せをしたら区のHPを案内される機会が多いが、利用者側には対応できない人もいますので、地活や連町会でもHPの掲載内容について周知してほしい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	地域連絡会や地域活動協議会連絡会議を活用して区役所の各事業担当から情報提供もさせていただいております。 今後も区民の関心が高い情報についてはHPだけでなく地域連絡会議等で周知してまいります。	地域課（地域） ・ 総務課（総合企画）
29	経営課題5（広報） HP等を見てもらうための動機づけができる広報を考えてほしい	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	HP、SNS、広報紙はそれぞれを補完する役割を持っていると考えています。 HP、SNS、広報紙それぞれを連携させることにより、各広報媒体を見たいと思える動機づけをしてまいります。	総務課（総合企画）

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）安全・安心部会（R4.1.13）での意見と対応一覧

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
30	経営課題5（広報） 区のHPは見にくいので、作り方を工夫してほしい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	HPの見やすさにつきましては、スマートフォンでの見やすさに重点を置いています。 大阪市の使用しているHPシステムの仕様もあり、PCでもスマートフォンでも見やすいページを構築するのは難しいところですが、他区のレイアウトも参考に、どのような形が見やすいHPであるかを研究してまいります。	総務課（総合企画）
31	経営課題5（広報） 広報紙の配架について、区民の約3割には届いていない。全戸配布(毎月でなくても)できないか？ そうすれば地域の人に情報が入るのではないか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	広報紙の全戸配布は数千万円の追加費用が必要となるため困難と考えておりますが、一方で、広報紙の内容はSNSでもご覧いただけるため、引き続きフォロワーの獲得に努めてまいります。 また、小学校での配布は新聞購読世帯との重複も多いと思料されるため行いませんが、商業施設など配布場所を増やすことにより、広報紙が区民の目に触れやすい環境の構築、手に取ってもらえるような内容の充実を図ることにより区民の手に届く広報紙をめざしていきます。	総務課（総合企画）
32	経営課題5（広報） 小学校で広報紙を配布して持ち帰ってもらうのはどうか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—		
33	経営課題5（広報） 区役所からの広報媒体は情報を見に行く人と待つ人でTwitter、LINE、広報紙等ニーズが異なる。 LINEは発信が多すぎると見なくなるが、定例（毎日何時）で発信してはどうか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	ご指摘のとおり、LINEは通知が多いと煩わしく感じるユーザーが多くなり、ブロックされることにより届けたい情報が届かなくなることが起こりうることから、LINEによる発信は緊急性の高いものや、特に区民に伝えたい重要度の高い情報に限定しています。連日発信することも想定し、発信時間を検討してまいります。 日常のお知らせについてはTwitterやフェイスブックを使っての発信を基本としていますので、区Twitterの拡散力をより強めるためにフォロワーの増加及び拡散力の高い情報の提供に努めてまいります。	総務課（総合企画）
34	経営課題5（窓口サービス） 先日、マイナンバーカードの申請について、区役所に電話で問い合わせをしたが、区役所としてもマイナンバーカードの普及を推進しているのに、問合せへの対応ができていない。 また、梅田・難波のサービスカウンターでは当日、本人確認書、通知カード等を持っていけば15分で（申請）できるのに、区役所でははがきが来るのを待って、はがきが来たら予約を取って…と時間がかかる。（サービスカウンターでできることが）なぜ区役所できないのか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	電話でのお問い合わせに対応した職員が梅田、難波のサービスカウンターのマイナンバーカード申請時来庁方式を知らずに、ご迷惑をおかけしました。職員には周知徹底を図ってまいります。 申請時来庁方式は、予約なしで受付けていることから手続きされるまでの待ち時間が発生してまいります。交付時来庁方式で予約してカードの受け取りに来られた方と混在し混雑が想定されることから新型コロナウイルス感染防止状況下においては、当区役所の待合スペースの問題もあり、現時点では、申請時来庁方式の導入は想定しておりません。	窓口サービス課 （住民情報）
35	その他（全体） 言葉の定義がわかりにくいので、わかりやすい言葉を使ったり、箇条書きにする等、誰が見てもわかりやすくしてほしい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	会議資料については、これまでの区政会議でいただいたご意見を参考にわかりやすい資料作成に努めているところではありますが、他区の作成資料も参考にしながら、今後ともわかりやすい簡潔な資料の作成に取り組みます。 また、区民の皆様にお示しする将来ビジョン等につきましては、わかりやすい表現となるようにいたします。	総務課（総合企画）
36	その他（学習会） テーマを絞った学習会を開催してほしい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	部会として、多くの課題があることから、学習会のあり方については、検討を行ってまいります。	地域課（地域）
37	その他（経営課題2・3） ヤングケアラー、メンタルが弱くなっている方のケアサポートがもっと必要ではないか。 自分たちがしてもらったことを次の世代にしてあげられるような住みやすいまちにしていければ、東淀川区は住んでよかったと思える、安全で安心な良いまちになっていくのではないか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	ヤングケアラーについては今年度より大阪市が実態調査や関係機関への研修等を実施しています。区においては、子育て支援室に設置している相談窓口の周知徹底を行うなど、ヤングケアラー支援に取り組んでいます。今後も国や大阪市の動向をみながら区の取り組みを進めてまいりたいと考えております。	保健福祉課 （子育て・教育） ・ 保健福祉課 （保健企画）

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）教育・健康・福祉部会（R4.1.19）での意見と対応一覧

【（仮）教育・健康・福祉部会】意見と対応一覧（経営課題2）

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
1	【経営課題2】（めざす状態） 出産してからではなく、妊娠期からの支援はとて素晴らしいと思う。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	引き続き、取組を継続します。	保健福祉課 （保健企画）
2	【経営課題2】 不登校やひきこもりなどの青少年の課題は、地域活動だけでは解決できない。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	不登校やひきこもりなど青少年の課題については、まずは身近な地域の見守りと気づきが大切と考えています。その対応については、要因が様々であり、学校・区役所・地域等の関係機関が連携しながら取り組んでいきます。	保健福祉課 （子育て・教育）
3	【経営課題2】 地域により青少年の健全育成に対する取り組みに差がある。東淀川区として各団体等との連携を強め各地域に意識向上を推奨していくことが必要である。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	地域の様々な取組は地域の自主性のもと取り組んでいただいています。運営方針のめざす状態を実現するため、青少年の健全育成にかかわる関係機関等と連携しながら取り組んでいきます。	保健福祉課 （子育て・教育）
4	【経営課題2】 生きる力を身につけるためには学力、ICT、読書環境も大切ではないか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	当区では基礎学力の向上と学習習慣の形成のため課外学習事業（こぶしのみり塾）に取り組んでいます。 教育ICTの活用については、国のGIGAスクール構想などを踏まえ、全市的に取り組んでいます。また、読書環境の整備についても大阪市子ども読書活動推進計画に基づいて、全市的に取り組んでいます。	保健福祉課 （子育て・教育）
5	【経営課題2】 子ども達のリストカットなど自殺未遂行為が年々増えているように思うが、サービスが必要かわからない子ども達にも東淀川区でチャイルドラインのような電話相談を作れないか。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	こどもがSOSを出せる電話相談として ① 大阪市児童虐待ホットライン 0120-01-7285（24時間365日対応 通話料無料） ② 子どもと親の相談らいん（LINEで相談）があります。 学校を通して子どもたちに直接カード等を配布し、周知しています。 多くは匿名の相談ですが、①については個人が特定され必要であれば、区に連絡していただくこともあります。既存のシステムで支援していきます。	保健福祉課 （子育て・教育）
6	【経営課題2】（今後5年間の施策の方向性＝戦略） サービスが必要な子どもや養育者に対して担当保健師だけでアウトリーチ、電話相談等が補えるのか。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	支援を必要とする人を取り巻く関係機関（生活保護ケースワーカー、子育て支援担当、学校関係者、産婦人科医療機関等）と連携しながら取り組んでいます。	保健福祉課 （保健企画）
7	【経営課題2】（具体的取組・取組内容） 助産師による相談事業、保健師の訪問等大変そうに思うが職員の負担が大きいと思う。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—		
8	【経営課題2】 子どもたちの自己肯定感を高めたい。自分が人の役にたっていると思える取り組みが必要ではないか。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員、奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	自尊感情の向上のために、各学校長と意見を交えながら学校の実情に応じた教育支援事業を実施しています。	保健福祉課 （子育て・教育）
9	【経営課題2】 子育てサロンに参加していない親子とつながるにはどうすればよいか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	子どもの発達の問題や養育者自身が集団の場が苦手など、さまざまな理由で子育てサロンに参加しない、できない親子がいます。 親子それぞれのご事情を考えながら、保健師や子育て支援室が地域につながるよう支援していきたいと考えています。	保健福祉課 （子育て・教育）
10	【経営課題2】（具体的取組・取組内容） 親への働きかけが必要ではないか。（地域のつながり） （自尊感情）	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	区役所や関係機関が親への育児支援を行い、親の育児不安が軽減されることにより子どもの自尊感情の向上につながると考えます。	保健福祉課 （保健企画）

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）教育・健康・福祉部会（R4.1.19）での意見と対応一覧

【（仮）教育・健康・福祉部会】意見と対応一覧（経営課題2）

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
11	【経営課題2】（具体的取組・取組内容） 妊娠前の青少年みんなへのわかりやすい教育を続けて欲しい。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	ゲストティーチャー派遣事業を実施しています。 ゲストティーチャー派遣事業は、児童虐待の未然防止に向けて、また自尊感情が損なわれる機会を少しでも減らすため、未成年の「望まない妊娠」を防止する取り組みの強化が必要であることから、小・中学生に対して、生命の尊さや自分と他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を醸成するための教育をこの事業を通して行うことにより、自尊感情の向上を図り、望ましい性行動を理解し、「十代の妊娠」や「望まない妊娠」を防止、ひいては児童虐待を未然に防止することを目的としています。	保健福祉課 （保健企画）
12	【経営課題2】 こどもサポートネット事業のスクリーニングの結果でどのような支援ができるのか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	要支援者に対し、寄り添いながら福祉の窓口に繋げるなどのサポート等を実施しています。	保健福祉課 （子育て・教育）
13	【経営課題2】 授業を集中して聞けるクラスづくりができ切れていない。学習習慣、生きる力や自尊感情を育てるため、小中学校完全副担任制の導入が必要である。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	公立学校の教職員の定数及び配置については、法律に基づいて配置されています。大阪市教育委員会において、必要に応じて教員を加配しています。また、学習支援を行うための学びサポーターや児童生徒が落ち着いて学習に取り組むことができる環境を整えるために生活指導支援員（警察官経験者や生徒指導に係る経験者）などの様々な支援員（サポーター）を学校の状況に応じて配置しています。	保健福祉課 （子育て・教育）
14	【経営課題2】（具体的取組・取組内容） 青少年育成として、ジュニア防災リーダーや親子防災部のような取組ができないか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	防災・減災の取組は年齢を問わずに必要なだと考えていますので、実施に向けて検討いたします。	地域課 （安全安心）
15	経営課題2（具体的取組・取組内容） 小・中で赤ちゃん（人形）とふれあう授業があればいい。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	ゲストティーチャー派遣事業の「いのちと性の教育」にて、コロナ禍前は赤ちゃんとお母さんに来ていただき、赤ちゃんとのふれあいコーナーを実施していました。現在は赤ちゃん人形を活用して理解を深める取組は行っています。	保健福祉課 （保健企画）
16	【経営課題2】 教育環境をオンラインを活用した教育環境の整備（YouTube、クイズで学ぶ等）の取組ができないか。スマホで答えがすぐに見つけることができるため、自分で考えることをせず思考力を養うことができない。ICTを持たせる時期が早いのではないか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	国のGIGAスクール構想などを踏まえ、大阪市内小中学校における教育ICTの活用推進に取り組んでいます。	保健福祉課 （子育て・教育）
17	【経営課題2】 こぶしのみのり塾について、一人一人の生徒に合った対応をできるように教職員の方との意見交換会ができればいい。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	こぶしのみのり塾については、実施事業者を実施場所を提供することでコストダウンを図っています。こぶしのみのり塾自体は、いわゆる民間の塾と同じであり、個人情報等の観点から教職員の方との意見交換会は困難です。なお、こぶしのみのり塾の実施事業者において、定期的に生徒面談等は行われています。	保健福祉課 （子育て・教育）
18	【経営課題2】（具体的取組・取組内容） 必要などころへの子育て支援をしていくには…？	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	母子健康手帳交付面接時に地区担当保健師名と写真、連絡先を明記した「みのりカード」をお渡しする取組を行っています。	保健福祉課 （保健企画）
19	【経営課題2】（具体的取組・取組内容） 通学時、見守り活動のできていない地域に区としてボランティアを送り出せないのか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	登下校安全確保の活動（通学路の見守り、巡視活動など）は、地域と連携しながら区役所において青色防犯パトロール車による見守りを行っています。	保健福祉課 （子育て・教育）
20	【経営課題2】（アウトカム指標・プロセス指標） （2-1アウトカム指標）「育児に自信」は難しいと思う。「こどもと一緒に成長できると思う」などにしたいほうがいいのではないか。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	プロセス指標を次のように変更します。 対象者へ支援終了時にアンケートを実施し、「支援を受けたことにより育児への不安が軽減されたと感じられた割合」：70%以上	保健福祉課 （保健企画）
21	【経営課題2】（アウトカム指標・プロセス指標） （2-1アウトカム指標）育児は常に悩むものだから100%は難しいのではないか。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	アウトカム指標を次のように変更します。 対象者へ支援終了時にアンケートを実施し、「支援を受けたことにより育児への不安が軽減されたと感じられた割合」：100%	保健福祉課 （保健企画）

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）教育・健康・福祉部会（R4.1.19）での意見と対応一覧

【（仮）教育・健康・福祉部会】意見と対応一覧（経営課題2）

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
22	【経営課題2】 課外学習事業のプロセス指標50%は少ないように思う。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	令和2年度実績（80%）を踏まえ、令和4年度のプロセス指標を80%以上に上方修正します。	保健福祉課 （子育て・教育）
23	【経営課題2】 それぞれの学校の課題とはなにか。それに応じた支援は何をしているのか。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	各学校は、学校ごとに設置された学校協議会において、保護者や地域住民等の多様な意見・ニーズを把握し、課題に応じた取り組みを行っています。区役所では、区内の学校が抱える共通課題を解消するため、各学校長と意見を交えながら学校の実情に応じた教育支援事業を実施しています。	保健福祉課 （子育て・教育）
24	【経営課題2】 子どもが楽しめる企画ができないか。コロナ禍で出前授業ができないのでオンライン参加型で小中学生が楽しめるイベントを増やして行けないか。また、こどもたちからこんなあったらいいな（川柳）を募集してはどうか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	各学校の授業内容は、学習指導要領に基づき各学校で年間指導計画を作成し実施しています。コロナ禍で授業時数の確保が難しい場合も考えられます。	保健福祉課 （子育て・教育）
25	【経営課題2】 保護者へのアンケートはしているか。（その項目から指標を測れないか。）	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	保護者へのアンケートについては、事業を実施するうえで必要に応じて実施しています。	保健福祉課 （子育て・教育）
26	【その他】 アンケートは数値化されわかりやすいが、回答者の状況によっては理解せずに回答しており、アンケートの結果をそのまま信じてしまうのは注意が必要。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	施策の有効性等を判断するにあたっては、アンケート結果のみならず、事業実績や費用等の様々な関連情報も含め、総合的に判断しています。	総務課（総合企画）

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）教育・健康・福祉部会（R4.1.19）での意見と対応一覧

【（仮）教育・健康・福祉部会】意見と対応一覧（経営課題3）

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
1	【経営課題3】 自助・共助・公助のバランスは難しい。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	地域福祉においては「公助」は補完的な役割ですが、地域福祉の推進にあたっては区民一人ひとりのニーズに応じた自助・共助・公助をバランスよく取り入れ、一体となって取り組むことが重要です。	保健福祉課 (保健福祉)
2	【経営課題3】 どんな取組・サービスがあるのか地域での周知が必要。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	広報紙やホームページ、地域の回覧板等にて周知していきます。	保健福祉課 (保健福祉)
3	【経営課題3】 必要な支援につながることは必要だが、つながった支援のレベル向上が必要。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	研修等実施し、スキルアップしていきます。	保健福祉課 (保健福祉)
4	【経営課題3】 孤立化を防ぐために地域との関わりが大切だが、それを嫌がる人がいて、そこが難しい。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	避難行動要支援者名簿のうち同意が得られた方について地域提供リストを作成し、それに基づき見守り相談室や地域福祉コーディネーターが家庭訪問等見守り活動を行っています。また、同意の得られていない方へ同意いただけるよう働きかけを行っています。	保健福祉課 (保健福祉)
5	【経営課題3】 要介護者になりうる人はなかなか外出できず、孤立しがちなのでその部分に入り込めるようにするには？	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	家庭訪問に応じていただけないなら、お手紙を投函する等し、相手の反応をみながら細く長くつながる関りも方法の一つだと思います。	保健福祉課 (保健福祉)
6	【経営課題3】 17地域に何か（困りごと等）あればここに立ち寄りという場所を作り、またその認知度をあげる。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	各地域の福祉会館等を利用し、地域福祉コーディネーターが身近な相談の窓口となっています。広報紙やホームページ等で周知していきます。	保健福祉課 (保健福祉)
7	【経営課題3】 相談窓口としてカフェを作るのはどうか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	各地域の福祉会館等を利用し、地域福祉コーディネーターが身近な相談の窓口となっています。地域のみなさまが気軽に相談できるような雰囲気づくりの重要性についても研修等していきます。	保健福祉課 (保健福祉)
8	【経営課題3】（3-1-1地域福祉コーディネーター） 地域福祉コーディネーターの人数は足りているのか。拡充が必要ではないか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	現時点において拡充の予定はないですが、実施状況をみながら必要に応じて検討します。	保健福祉課 (保健福祉)
9	【経営課題3】（3-1-1地域福祉コーディネーター） 地域福祉コーディネーターのスキルアップのための研修や認知度向上に努める必要がある。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	隔月で「地域福祉コーディネーター連絡会」を開催し、研修を実施しています。 認知度向上については、引き続き広報紙やホームページにて周知していきます。	保健福祉課 (保健福祉)
10	【経営課題3】（3-1-1地域福祉コーディネーター） 地域福祉コーディネーターは地域の人なので、近所の人に困りごとの相談はしにくいのではないか。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	相談の窓口は地域福祉コーディネーターだけではなく、区役所や相談支援機関などでもご相談をお聞きしていますので、相談しやすい窓口にご相談ください。	保健福祉課 (保健福祉)
11	【経営課題3】（3-1-1地域福祉コーディネーター） 地域福祉コーディネーターを知るには？	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	区役所や東淀川区社会福祉協議会、地域の社会福祉協議会会長等にお問い合わせください。	保健福祉課 (保健福祉)
12	【経営課題3】（3-1-1地域福祉コーディネーター） 社会福祉協議会の役割は？	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	東淀川区社会福祉協議会は、地域福祉コーディネーター業務委託事業の受託事業者として総括的管理を行っており、採用選考、研修等の実施による人材育成、毎月の活動日報・月報による活動内容の確認等を行っています。	保健福祉課 (保健福祉)

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）教育・健康・福祉部会（R4.1.19）での意見と対応一覧

【（仮）教育・健康・福祉部会】意見と対応一覧（経営課題3）

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
13	<p>【経営課題3】（3-1-1 地域福祉コーディネーター）</p> <p>地域福祉コーディネーターのこの1年の実績は？また、地域福祉コーディネーターと民生委員の違いは？</p>	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	<p>地域福祉コーディネーターは、地域福祉コーディネーター連絡会で福祉分野における専門的かつ高度な知識やノウハウについて習得するとともに、個々のケースを通して、見守り相談室のコミュニティソーシャルワーカーからタイムリーに助言・指導を受けながら地域住民や民生委員からの相談に対して助言を行ったり、適切な支援機関へつなぐ役割を果たしています。</p> <p>民生委員は、支援を必要とする地域住民と行政や専門機関とをつなぐパイプ役となり、高齢者世帯への訪問・見守り活動、生活に関する相談などを行っています。また、個人情報の取り扱いやひきこもり・ヤングケアラー等への支援など様々な研修を受けていただいています。</p> <p>地域福祉コーディネーターと民生委員は研修等により福祉分野における知識を持って相談業務を行っており、どちらも身近な相談先ですので、相談しやすい窓口にご相談ください。</p> <p>地域福祉コーディネーターが受ける相談内容は介護や子育てや障がい、生活全般に関するもの等さまざま、ワクチン接種の相談やごみ屋敷に関するものもありました。見守り相談室や地域住民、民生委員等と連携し、支援が必要な方へのアウトリーチを行っているほか、見守り相談室からの連絡を受けて、認知症高齢者等の行方不明の早期発見のために地域の見回りも行っており、令和3年4月から12月末までの延べ活動日数は1,063日、延べ相談件数は4,134件です。</p> <p>そのほか、地域福祉コーディネーターは、①区全体や地域の生活・福祉課題を的確に把握して、行政と連携し、地域とともに課題解決に取り組むことができる中間支援機能を有するとともに、②支援困難ケースへの対応や地域の組織化に向けた積極的な支援も必要で、業務内容は多岐にわたっており、実績等は次のとおりです。①地域版の保健福祉計画の策定や更新に向け、地域の方と一緒に地域の社会資源を把握するほか、地域の強みや弱み等についてのアセスメントを令和3年度後半からスタートし4年度も取り組んでいきます。なお、アセスメントの内容は東淀川区社会福祉協議会や区役所と共有しています。②この間の実績はありませんが、今後は「総合的な支援調整の場（つながる場）」において、支援機関の一つとして機能するよう取り組んでいきます。</p>	保健福祉課 (保健福祉)
14	<p>【経営課題3】（3-2-1 地域別の保健福祉計画）</p> <p>地域別の保健福祉計画の策定のハードルを下げる取組が必要。</p>	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	<p>体裁やボリュームにルールはございません。例えばA4サイズ1枚程度でも、携帯しやすいようなカード式等でも、地域のみなさまが作成しやすいような体裁やボリュームを選択していただきたいです。</p> <p>なお、さまざまな機会にそう難しく考えなくてもいいということを啓発していきます。</p>	保健福祉課 (保健福祉)

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）教育・健康・福祉部会（R4.1.19）での意見と対応一覧

【（仮）教育・健康・福祉部会】意見と対応一覧（経営課題3）

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
15	【経営課題3】（3-2-1地域別の保健福祉計画） 計画策定済の地域の今後についての記載は？	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	全地域で地域別保健福祉計画が策定され、実情に応じて計画の見直し、更新が必要ですので、東淀川区社会福祉協議会と連携し支援していきます。	保健福祉課 (保健福祉)
16	【経営課題3】（3-2-1地域別の保健福祉計画） 地域別の計画が全地域きちんとできるようにすることが重要。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—		
17	【経営課題3】（3-3アウトカム指標） 区役所で困りごと相談ができることを知っている割合はもう少し高い方がいいのではないかと。（80%くらい）	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	令和2年度の区民アンケートの結果が35.8%であったため、目標値を60%に設定しましたが、今年度の実績（59.4%）を踏まえ、目標値を70%に変更します。	保健福祉課 (保健福祉)
18	【経営課題3】 困サポ、区役所窓口ワンストップで取り組んでほしい。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	現在すべての相談を受け付けるワンストップ窓口はないですが、どの窓口に来ていただいても必要な窓口につなげるように研修等を行っています。	保健福祉課 (保健福祉)
19	【経営課題3】（3-3-1ひがよどなごみ勉強会） ひがよどなごみ勉強会参加者の進学率、中退率は？	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	過去3年間の中学3年生の高校への進学率は100%です。また、高校進学後の中退者は1名のみです。	保健福祉課 (保健福祉)
20	【経営課題3】（3-3-1ひがよどなごみ勉強会） 中学生が行きたいと思う場所にしていこうためには？	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	ひがよどなごみ勉強会では、マンツーマン方式などで生徒一人一人に寄り添いながら、学習の場を提供するだけでなく居場所機能も有しており、季節のイベント等も実施しています。また、学習支援サポーターを参加者（中学生）の年齢に近い大学生とすることで、相談しやすい環境づくりに努めています。	保健福祉課 (保健福祉)
21	【経営課題3】（3-3-2つながる場） 区役所内でのつながる場の認知度は？	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	毎年、新規採用職員や当区への転入職員に対し研修を実施しています。しかしながら過去に研修を受講した職員等で「つながる場」の認知度が薄れてきているようなケースも見受けられますので、改めて研修資料の全職員への配布など、職員への認知度向上に努めてまいります。	保健福祉課 (保健福祉)
22	【経営課題3】（3-4-1百歳体操） いきいき百歳体操は町会に入っていない人も参加したい人は全員参加できるのか？	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	いきいき百歳体操は地域の方主催で運営されており、拠点により参加要件は異なりますが、町会に入っていない人も参加できる拠点は多くあります。	保健福祉課 (保健福祉)
23	【経営課題3】（3-4-1プロセス指標） 健康診断受診のアンケートの実施時期は？	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	毎年、年末頃に対象者にアンケートを郵送しています。	保健福祉課 (保健企画)
24	【経営課題3】（3-4-1） ウォーキングイベント（「防災散歩」、「区長を探せ」）を実施してはどうか。	奥田委員、梅田委員、倉田委員、高月委員、田原委員、中西委員、山本委員	—	防災の要素を含めた区によるウォーキングイベントの実施予定はありませんが、既存のウォーキングイベントに区長が参加しています。	保健福祉課 (保健企画)
25	【経営課題2・3】 将来ビジョン、運営方針ともにヤングケアラーや認知症への対応に関する取組がないが、今後5年間の取組として必要ではないか。	東田委員、梶委員、窪田委員、床田委員、橋本委員、松田委員、吉田委員、植原委員	—	（ヤングケアラー） 「大阪市ヤングケアラー支援に向けたプロジェクトチーム会議」の内容を踏まえ、区においても取り組んでいます。 運営方針（案）経営課題2（具体的取組2-2-1）に明記します。 （認知症） 認知症への対応として、運営方針（案）経営課題3（具体的取組3-1-1）に明記します。	保健福祉課 (子育て・教育) ・ 保健福祉課 (保健福祉)